

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー活動報告書【5月分】

氏名	中島藍子	3期生	D班	事業所名	霧島杉安病院 地域医療連携室
<b>1 地域の方々からの介護・生活相談</b>					
・外来通院・受診相談→病院の送迎車の利用を案内 ・初めて介護認定を受けた方へ、介護保険サービス利用について案内 →地域包括支援センターへ相談 福祉用具のレンタル、住宅改修、訪問介護を利用 ・介護者不在時の短期間施設入居利用の相談→介護保険サービスの利用が初めてとのことだったので、ケアマネジャーと特養相談員へ相談し、施設見学および話し合いを行った。ショートステイ利用の前にまずは通所介護を利用し、介護保険サービスの利用を開始してみることとした。					
<b>2 自治会活動・地域ボランティア活動の参加・連携</b>					
・活動無し					
<b>3 介護予防教室、サロン、食事会・家族会等の開催</b>					
・霧島杉安病院独自で行う地域の集まり →5月20日(土) 9:45～11:30 内容:作業療法士による講話・運動、工作(あじさい作り) 前回同様、参加者からのリクエストに応え、老健きりしまの作業療法士による講話と運動を行った。DVDを観ながら、自宅でも出来るリハビリ運動を指導していただき、みんなで一緒に行った。皆さん真剣な表情で講話を聞きておられた。あじさい作りは、折り紙であじさいのガクを一つ一つ折り、それぞれにあじさいの花を完成させた。皆さんの作品は霧島杉安病院のロビーに展示させていただいた。参加者同士で折り紙の折り方を教わったり、たくさん折れない参加者を手伝ってあげたりと、楽しんでいただけた様子だった。					
<b>4 認知症サポーターの養成、小中学校への福祉教育、介護者教室の開催</b>					
・活動無し					
<b>5 「私のアルバム」の普及・啓発</b>					
・活動無し					
<b>6 グループ活動</b>					
・活動無し					
<b>&lt;今後の課題等&gt;</b>					
5.23(火) 15:00～「見える化」作業部会参加。今年度から食改さん、運推さん、民生委員さんも参加していただけたことになった。 今後の「見える化」作業部会の進め方について検討。霧島地区内で、自主的に集まりを始めた地区がいくつかあるとのこと。視察に出向くなどして情報収集を行う。永水地区のモデルをどのように各地区に広げていくか、また、広げていくなかで各地区的モニタリングをどのように行うかということも今後の課題として挙げられた。					
新・地域のひろば事業について、自分自身不明確な部分が多いため、地域の方々から問い合わせがあつた際に対応できるように再確認しておく。					

\*翌月10日までに、霧島市地域密着型事業者連合会事務局に提出(郵送・メール・fax可)する事。